

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【公表番号】特表2010-537623(P2010-537623A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-500022(P2010-500022)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	5/28	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/26	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	5/28	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	16/26	
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月25日(2011.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アンドロゲン結合領域を含むポリペプチドであって、前記アンドロゲン結合領域が、哺乳類被験体への該ポリペプチドの投与に際して生物学的に利用可能なアンドロゲンのレベルが減少するように、十分な親和性又は結合活性でアンドロゲンに結合することができる特徴とするポリペプチド。

【請求項2】

アンドロゲンとアンドロゲンに天然に結合するタンパク質との間の親和性以上のアンドロゲンに対する親和性を有する、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項3】

前記アンドロゲン結合領域が、ヒトアンドロゲン受容体からのアンドロゲン結合ドメイン又は性ホルモン結合グロブリンからのアンドロゲン結合ドメインを含む、請求項1又は2に記載のポリペプチド。

【請求項4】

担体領域を含む、請求項1～3のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項に記載のポリペプチド及び薬学的に許容される担体を含む組成物。

【請求項6】

請求項1～4のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードすることができる核酸分子。

【請求項7】

請求項6に記載の核酸分子を含むベクター。

【請求項8】

前立腺癌又はテストステロンフレアの治療又は予防のための医薬品の製造における、(i)請求項1～4のいずれか一項に記載のポリペプチド、(ii)請求項6に記載の核酸分子、又は(iii)請求項7に記載のベクターの使用。